



皆さん、こんばんは！スサナと申します。スペインから参りました。
 今回、去年10月1日、日本に着きましたが前に何回か日本に来たことがあります。日本が大好きです。月曜日から金曜日まで、日本語専門学校に通っています。
 去年の12月から6月まで日本の会社の国際営業部で働きました。会社の国際営業部がなくなりました。私の仕事もなくなりました。困るね！でも頑張ります。必ず来年の9月まで日本にいます。なぜなら日本語のクラスは来年の9月までですから。
 日本語の勉強は段々難しくなっています。卒業することができるかどうかわかりません。心配しています。メチャ心配です。私は頑固者ですからできるかなああ。もし卒業ができたならまだ日本に住みたいです。できれば。
 今日毎日学校で5時間日本語を勉強していますが学校で習った日本語と生きた日本語は全然チャウと思います。日本語がペラペラになったら帰国したいです。将来スペインに帰ったらガイドの仕事をしたいです。
 8月にスペインに行って来ます。3週間ぐらいスペインにいる予定です。時々スペイン語の先生のアルバイトをしています。楽しくて大好きです。私は北スペインの出身です。GIJÓN「ヒホン」のASTURIAS「アストゥリアス」県と言う町で生まれました。機会があればヒホンに行って見て下さい。いい場所ですよ。スペインと日本は大分違います。スペイン人に日本で習った文化と日本の事を教えたいです。できれば、スペインから日本まで小さい橋をかけたいです。
 市岡に来ていつも面白い先生と会話をしています。面白いですよ！日本について色々な事を習っています。言葉だけじゃなくて日本の生活と文化の事も教えていただいているのでラッキーです。市岡の日本語のボランティアの教室は何年前にホームステイで泊まった家のリカさんが紹介してくれました。最近私の家でもホームステイができます。外国人なら日本語が話せない時日本で旅行することが難しいと思います。
 私の日本語がまだまだですが頑張ります。皆さん、どうぞ宜しくお願いいたします。

70th Anniversary ~1~

~老人留学生として~

柳村 順

2009年2月12日より7月30日まで中国海南省海口市にある海南師範大学へ語学留学生として行ってきました。私の中国語は昔は3級に合格したことはありますが、ヒヤリングのレベルがあまりにも低いので少しでも高めようと思って留学を思い立ったのです。でも半年間では短すぎることに、70歳を超えたら記憶力が急速に衰えていることを実感し、目的は達成できなかったのですが、中国で生活することにより、いろいろな経験や感じたことがありますので、まとめてみることにしました。

1. なぜ海南島へ？

中国語を勉強するなら普通の日本人は中国でも北の方すなわち北京、瀋陽、南へ下がって上海あたりを選ぶでしょう。中国人もそうしてくれますが、やはり発音がより標準的だからでしょう。でも私はあえて日本人があまり行かないところ、且つ私自身も行ったことのない場所へ行って見たかったから中国の南の端を選んだのです。インターネットで調べると海南師範大学は80歳まで入学可能でした。

2. 海南島というところ

海南島は世界地図を見るとちょうどハワイと同じ緯度にあります。だから亜熱帯から熱帯地方になり島内どこへ行っても椰子の木だらけで南国情緒たっぷりの島、ここ本当に中国？といった感じです。海南島の南の端に「サンヤ」というリゾート都市がありますが、その辺では冬でも泳げるところです。島は九州とほぼ同じ大きさで中央には2000メートル級の山があり、山の北側と南側では天気もガラッと違います。昔は島流しの刑に服する人が送られてきたという歴史があります。少数民族も山間部に住んでおり、観光地にもなっています。言葉についてですが、少数民族は彼らの言葉を持っているし、一般の人は海南語を話します。だから大陸から来た学生たちも海南語はさっぱり分からないと言っていますが、勿論海南語を話す人も学校では標準語を習っていますので標準語で意思疎通はできます。

3. 海南師範大学と学生寮

この大学は学校の教師を目指す学生が集まってくるのでいろいろな学科があります。体育系、美術系、音楽系、芸術系、理工系、外国語系などで、私にとって嬉しかったのは日本語科があり、学生も90人ぐらい居り、日本人の先生も一人おられたことで日本語の通じる学生がたくさんいたことです。日本語科の学生以外の学生も日本語や日本という国に対してすごく興味を持っており、日本のアニメや漫画、伝統文化な

どに関心を寄せている学生が多いのにはびっくりしました。だから日本人を見ると積極的に話しかけられ、交流を申し込まれることが多々ありました。学生の寮は女子寮は学校内にあり、男子寮は学校外にあり分離されていました。私たち留学生寮も学校内にあり、安全面である程度考慮されていましたが、私が滞在していた期間内でも盗難事件が2回あり、少し心配でした。

4. 食事と物価

寮では生火を使うことは禁止されているので一日三度の食事は学生食堂で食べることになります。いろいろなメニューがあり、食事が一番楽しみでしたが、おかずの名前がなかなか分からず、あれ、これ、緑の、紅いの、とか言って注文します。そのうちに好みが決まってきた中国語で注文し、味付けもある程度注文できるようになってきました。ただ御飯がまずく、パラパラ飯です。焼き飯などはいいのですが、やはり日本人は粘り気のある御飯がおいしいですね。値段は1食3元から5元(日本円で40円から80円)で日本人から見ると大変安いですが、少し高いですが時々学校近辺のレストランにも食べに行って変化を持たせていました。

また、果物の種類が豊富で安いので毎日贅沢な果物を安く食べることができました。パイナップルなどは本当に甘くて1元(15円)でお腹いっぱいになります。マンゴウもたらふく食べることができました。飲み物は日本で売ってるものは大体ありますが、味が濃い口で1瓶(1元から3元・日本円で15円から45円)買っても最後まで全部飲みません、味覚感覚の違いがここにも表れているようです。水(ミネラルウォーター1瓶1元・15円)は海南島は中国で一番水質が良く、その結果が一番長生きする人が多いそうです。

5. 中国語の授業

授業は月曜日から金曜まで、文法は毎日2コマ、語法は週3日で一日2コマ、ヒヤリング週2日で1日2コマ、毎日午前中で終わります。授業はすべて中国語で、時々英語も使われます。授業は3クラスに分かれていて、上級班はHSK(英語のTOEFLの様なもの)を受験するための授業、中級班は初級班の終わった人、初級班は初めての人から初歩段階の人で、私は中級班に入りました。これも別にテストがあるわけではなく、自分で選ぶようになっているのです。留学生は最も多い国はタイランド、カザフスタンで、あとはキルギス、シンガポール、カナダ、アメリカなどです。日本人は私のような定年後の人が数人、20歳代、30歳代の若者も数名といった感じで、日本人全員集まっても8人程度でした。午前中だけが授業なので午後と夜は全くの自由時間です。先ほども少し触れましたが、我々日本人は日本語科の学生がいるので、空き時間は殆ど日本語の交流(全く市岡と同じ)で時間がつぶれました。交流の場所は人数が多い時は教室とか外の広っぱとか、個人的に約束した学生とは留学生寮の自分の部屋で交流しましたが、私たちは観光にも行きたいので、彼らと一緒にバスなどに乗って出かけることも再々ありました。彼らも案外行ったことのない場所があり逆に喜ばれました。家庭教師という制度もあり、これは市岡の逆で私たち留学生の雑談相手になってくれるので生の中国語の練習になるのです。寮の部屋に来てくれますが、たまには食事に出かけたり、観光地に案内してもらったりしていました。これもボランティアで学生たちはこのボランティアをすることによって単位がもらえるそうです。

<つづく>



柳村さん。

株式会社

ダスキンよしかわ

〒553-0006

大阪市福島区吉野5-11-5

TEL 06-6463-7700

FAX 06-6463-7701

ダスキン商品

マット・モップ・浄水器

空気清浄機・芳香剤

男子トイレ用ビューティク

リーンなど・・・

LUCENT・大西

貸工場・貸倉庫・マンション

大阪市港区波除3-8-14

TEL 06-6584-0024